町の農畜産業の発展に寄与する バイオマス発電

取組のポイント

沖縄県八重瀬町役場

家畜ふん尿を発電に活用 して処理経費を節減する とともに、売電収入の一 部を堆肥の販売価格に還 元して営農の経費を節減

プラントから出る残さを 堆肥にし、液肥とともに 農地に還元して 環境保全型農業に努める 農山漁村再工ネ法の 基本計画に位置づけ、売 電収入をプラントの運営 費用に活用する等、地域 の農林漁業の発展に寄与

事業スキーム

残さ

堆肥センター

堆肥

バイオマスプラント

(環境省事業を活用して建設)

熱源

バイオガス

ボイラー





熱

液肥貯留槽

バイオガス

メタンガス

液肥(無償)

電気

家畜ふん尿(無償)

売電収入の 一部を堆肥の 販売価格に還元

バイオマス発電所

(バイオマスプラント内に設置)



発電機

(草地・さとうきび畑)

耕作地・畜産農家等



売電(FIT認定申請中)

沖縄電力

収入

<FIT認定後> 売電単価:39円/kW 売電収入見込み:770万円/年

今後の展開

- ✓ 農山漁村再工ネ法の基本計画に位置づける(平成30年3月頃を予定)
- ✓ バイオマス発電について、現在の25kWから50kWに拡大することを目指す
- ✓ 地域のバイオマスの状況等を踏まえ、さらなる発電設備の建設に取組む

バイオマス発電所の概要

- ・発電事業者/八重瀬町堆肥センター
- ・施設名称/八重瀬町地域循環型バイオガスシステム
- ・所在地/沖縄県島尻郡八重瀬町富盛1615-1
- ・発電規模/ 25kW
- ・年間発電量/ 約20万kWh
- ・使用燃料/ メタンガス
- ・売電開始/ 平成30年からの予定





バイオマスプラント全景

